

環境目標：学校全体で資源循環型社会を目指します。

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・所沢市のエアコン使用のガイドラインをふまえ、教室の室内温度を夏季は28℃、冬季は18℃になるように、エアコンの温度調整を学校全体で行った。
・児童会活動として、児童主体のSDGs委員会の活動を推進し、児童は自分たちにできることを調べて節電や節水等を全校児童に呼びかけた。
・7月と12月の学校だよりにて、各家庭に対して埼玉県「エコライフ DAY&WEEK 埼玉2024（夏）（冬）」への参加を呼びかけた。

<資源循環>

活動内容
・学校全体で牛乳パックのリサイクルに取り組み、集団資源回収で得た報奨金を活用して校内の環境整備を行った。
・各学級で燃えるゴミ・燃えないゴミ等の分別に、主体的に取り組んだ。
・児童が校庭の落ち葉を拾い、その落ち葉を学校農園や花壇の肥料として使用することができるよう、たい肥作りを始めた。

<みどり・生物多様性>

活動内容
・地域ボランティアの協力を得て学校農園を充実させ、特別支援学級（こばと学級）や飼育・緑化委員会の児童に農作物の収穫体験をさせることができた。
・自校給食の強みを生かして学校農園でできた農作物を給食の食材として提供し、地産地消の学習に役立てた。
・何年か活用していなかった花壇を整備してヘチマの大きな緑のトンネルをつくった。

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】牛乳パックのリサイクルの推進と分別によるごみの量の削減

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

- ・給食で提供している牛乳のパックをていねいに洗い、集団資源回収として業者に引き取っていただいています。報奨金等は、校内の環境整備費として活用しています。
- ・清掃時や学習活動時に出てくるごみを各学級でしっかり分別することにより、紙としてリサイクルできるもの、資源としてリユースできるもの等を児童に学ばせています。このことから、ごみの量も少しずつ削減しています。

【活動内容】

<牛乳パックのリサイクルについて>

給食時に飲み終えた牛乳パックを一人一人の児童が開いて、ていねいに洗い、1日乾燥させた後、給食室でまとめます。まとめられたものは、SDGs委員会の児童に渡され、毎日ゴミ庫へ運ばれます。その後、牛乳パックは資源回収業者に渡し、古紙としてリサイクルされます。

また、資源回収業者や市から提供された報奨金を活用して、花壇を整備したり、学習に使用する教材を購入したりして環境整備を行っています。

本校は、今後も牛乳パックのリサイクルをはじめとする資源回収に積極的に取り組み、学校全体で循環型社会を目指して行きます。



<分別によるごみの量の削減について>

教室や昇降口、職員玄関等にごみの分別方法を例示したごみ箱を設置し、児童が意識的にごみを分別して捨てることができるようにしています。

また、分別方法については、美化委員会の児童が朝会で紹介したり、掲示物を作成したりしています。担任や学務手も適宜、指導・支援をしながら環境に対する意識を児童の活動意欲を高めています。



今後は、児童が主体的にリサイクルに取り組む場を更に増やしていくとともに、教職員や保護者・地域が範を示し、地域全体で環境意識を高めていくことができるよう取り組んでいきます。